

1 第1回検討会の主な意見と対応方向

5月18日に開催した、「第1回熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」において頂きました主な意見に対する対応方向について以下に整理します。

第1回検討委員会での主な意見	対応方向
検討委員会の目的及び進め方について	
・検討委員会での議論の対象範囲は、池の辺地区だけでなく峠谷地区や旧埋立地も含めて欲しい。	⇒ご意見の通り、基本構想の検討対象は、峠谷地区及び旧埋立地も含めた「最終処分場等（池の辺地区、峠谷地区、旧埋立地）」及び「市立室内プール敷地内駐車場」とします。
・基本構想の中に、峠谷地区や旧埋立地の整備についても検討を進めるといった含みを持った文章を入れて欲しい。	⇒現在、峠谷地区及び旧埋立地において、整備時期の目途は立っていませんが、今後も整備に向けて調整を行っていきます。 基本構想においても、峠谷地区及び旧埋立地の整備に向けた調整を行っていくことについて記載していきます。
熱回収施設の周辺施設等整備基本構想の検討について	
＜最終処分場等の上部利用＞	
・旧埋立地について、早期着手可能な範囲に交通公園を配置し、整備スケジュールを早めるという可能性も検討してほしい。	⇒旧埋立地の整備に向けた調整は、駐車場、リサイクル広場、ビン・カン中間処理施設、土木資材置き場など、旧埋立地全体を一体的に進める必要があります。そのため、旧埋立地の一部分のみ整備スケジュールを早めることは想定していません。
・池の辺地区の覆土は現行の1～2mから嵩上げされる可能性はあるのか。	⇒池の辺地区の埋め立ては、既に計画容量までほぼ終了しています。そのため現行の1～2mの覆土からかさ上げすることは想定していません。
・池の辺地区の管から出てくるガスは、安全上、問題はないのか。	⇒池の辺地区は埋め立て終了から10年以上経過しています。現在もガスは発生していますが、心配のない発生量です。処分場の廃止手続きを行うまで引き続きモニタリングを続けていきます。
・ワークショップでは、子どもが自由に遊べる場所が少ないという意見が多く出た。 ・函師小学校ではグラウンドと体育館を開放しているが、土日は活動が集中し、空きがない状況である。	⇒ワークショップや検討委員会でのご意見を踏まえ、最終処分場等において「子どもが自由に遊べる場所」の創出について検討していきます。

第1回検討委員会での主な意見	対応方向
<ul style="list-style-type: none"> ・峠谷地区について、埋め立てを行って平坦な部を広くすることは可能か。 	<p>⇒峠谷地区は66%の埋め立て進捗率の段階で埋め立てを中止していますが、ごみと覆土を交互に埋め立てることが条件となっているため、残りの容量を土だけで埋め立てる場合は、東京都との協議が必要となります。</p> <p>そのため、現時点では残りを土で埋め立てる可能性も含めて検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・覆土のみで上部利用を行う場合、有害物質など安全面の問題はないか。 	<p>⇒覆土の状態で上部を利用しても差し支えありません。また、雨が降ってもごみから出る物質が表面に上がってくることはありません。</p>
<p><健康増進温浴施設></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進温浴施設について、ロータリーの上部を活用する可能性も含めて検討してほしい。 	<p>⇒建築基準法上、健康増進温浴施設の計画は、既存の町田市立室内プールを含む敷地における増築として扱います。そのため、既存のプールとは通路等をつなぎ、一体的な建築物とすることが必要です。</p> <p>ロータリー上部の活用については、ロータリーでの車両の通行に支障を及ぼさないことを前提に、プールとどのようにつなぐことが出来るか、設計を踏まえて検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進温浴施設について、背面の道路からアクセスする形で屋上利用することも検討してほしい。 	<p>⇒南側道路からのアクセスについては、基本構想の策定において検討し、設計の段階で具体的に検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進温浴施設については、公共施設としては最小限に抑え、岩盤浴や足湯など、民間施設との競合は避けるべき。施設の種別を絞って広く使えるようにした方が利用者の満足度も高くなる。 	<p>⇒健康増進温浴施設の施設規模を踏まえ、導入する機能を選択する際に、利用者の満足度を考慮して検討します。</p>

その他の意見

意見の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・多摩都市モノレールの駅の位置について、熱回収施設の周辺施設等整備基本構想の検討とあわせて、未来づくりプランの記載内容を修正する可能性はあるか。 	<p>⇒多摩都市モノレールの延伸では、桜台通りが想定されるルートとなっていますが、具体的な駅の位置については決まっておられません。駅の位置については、モノレール延伸の検討とともに、今後総合的に調整を進めていく予定です。</p> <p>未来づくりプランへの反映については、モノレール延伸の計画の進捗を踏まえながら、可能な箇所から調整していきます。</p>

2 最終処分場等の上部利用の整備の方向性の確認

最終処分場等の上部利用の整備方向について、検討委員会において、方向性を決定した部分があります。そこで、「主な意見」と「決定事項」について整理します。

第 1 回検討委員会での主な意見	決定事項
旧埋立地（平たん部）	
<ul style="list-style-type: none"> ・多世代で楽しめる施設として期待も高いので、ぜひ交通公園を配置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通公園とする。
旧埋立地（三角地）	
—	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場とする。
峠谷地区	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進温浴施設にも近いため、スポーツ利用とするのが好ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを楽しむグラウンドとする。
池の辺地区（平たん部）	
<ul style="list-style-type: none"> ・池の辺地区は、尾根緑道との接続も考えると広場とするのが良い。 ・多目的広場は、スポーツもできるという位置づけにはどうか。 ・峠谷地区だけでは広さが限られるため、池の辺地区でもスポーツができるようにすべき。 ・ワークショップでは、子ども専用の遊べるエリアをつくりたいという意見もあった。 ・芝生は管理が困難であるため、子どもの遊び場とする部分に限定したほうが良いのではないかと懸念はある。 ・八王子市の戸吹スポーツ公園では人工芝を用いている。 ・芝生のほうが土ぼこりが発生しないため、周辺住民からすると良いだろう。 ・平たん部で大人向けのソフトボールはできないか。場所が不足している。 ・少年野球のグラウンドがなく、困っている。少年野球ができる程度のスペースは確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツもできる多目的広場とする。
池の辺地区（斜面）	
<ul style="list-style-type: none"> ・斜面はかなり急で、下には調整池があるため、冒険広場にするには危険である。 ・急な斜面にアスレチックをつくっている事例として、神奈川県立あいかわ公園が参考になる。 ・花壇だけにするには斜面が広すぎるので、冒険広場の可能性も考えていただきたい。 	—

第1回検討委員会での主な意見	決定事項
池の辺地区（緩衝斜面）	
<ul style="list-style-type: none"> ・この場所でグランドゴルフは不可能である。 ・傾斜を利用して、近年盛んになっているボルダリングを 考えても良いのではないか。 ・ボルダリングは、斜面ではなく垂直な壁が必要になる。 部分的に設置することは考えられる。 ・尾根緑道から見下ろす景色をぜひ大切にしてもらいた い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アスレチックとする。
池の辺地区（桜台通り沿い）	
—	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・駐輪場
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・あずまややトイレなどの施設配置も考えてほしい。 ・一周できるランニングコースや尾根緑道との接続など についても検討してほしい。 ・通路の幅や樹木などについても検討してほしい。 	—